

近年探索選抜された温州みかんの形質

中 牟 田 拓 史

(佐賀県果樹試験場)

最近の温州みかんの品質は、非常に良いにもかかわらず、生産過剰気味で、価格の低迷が続き、品質格差も大きくなっている。

一方、そのような中で、高級柑橘と云われる中・晩柑類の増植も盛んで、これら柑橘類の前進販売傾向が一層強まり、普通温州みかん類の販売・価格面へ、影響を及ぼしていると思われる。従って、競合する柑橘類が少ない早生温州みかんの前進販売やハウス施設による早熟化で、有利な販売がなされるようになった。

このような情勢の中で、みかん生産者は、前進販売のできる系統・より品質優良な系統・省力化や省エネルギー化のできる系統といったものに関心が高まり、各地で

枝変り等の探索選抜や育種が盛んに行われている。

最近、各地で探索・選抜され、公表された温州みかんの品種系統の主なものの分化は、第1表に示したとおりである。

なかでも、極早生温州は特に多く、その特性の概要は、第2表のとおりである。この大半の系統は、まだ、特性調査の段階であり、また、同一場所での比較検討が、ほとんどなされていない。

しかし、各系統とも一長一短があり、果実で大別すれば、果形の良否・着色の早晩・酸含量の多少に分けることができる。また、樹勢は全般に弱いようである。

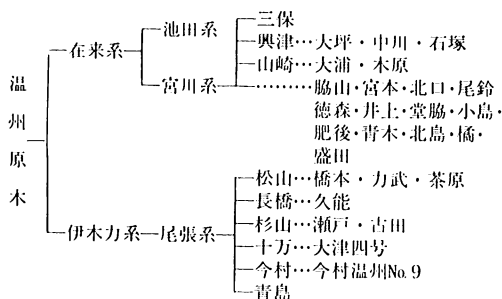
次に、早生・中生・晩生系の特性は、第3表に示したが、早生としてあげている三系統とも、既存の早生より着色はやや早く、他の点でも注目すべき系統と思われる。

中生系としてあげている三系統は、いずれも特性が大きく違い、また、既存の中生とも特性が違う点が多い。このような観点からも、特性が充分発揮できるような所に植栽すべき、地域性を帯びた系統と思われる。

晩生系の古田温州は、既存の系統と大差ないようで、今村温州 No.9 は、果実の品質は秀れているが、栽培性の難易に問題点が多く、特殊栽培的な農家向と考えられる。

以上、新しい温州みかんの主な品種系統について各県

第1表 最近探索された温州みかんの主な品種系統の分化



第2表 極早生系の特性

系統	母樹系統	変異	原産	樹勢	着色始	果形		減酸	可食始	その他
						果形	減酸			
橋本	松山	枝	愛媛	弱(節間短く葉小さい)	9月上旬(日当部が早い)	扁円	極早	9月上旬	果皮歩合多く、油胞突出し果皮やや粗い。日陰部の緑ぬげ悪く濃い。	
脇山	富川	枝	佐賀	やや弱(枝葉やや小さい)	9月上旬	腰高(玉伸び悪い)	極早	9月上旬	果皮歩合多く、ネックが生じ易い。	
宮本	富川	枝	和歌山	中(葉やや小さい)	9月上旬	扁平(果形の乱れない)	早	中旬	肥大、着色、果肉の成熟とも宮川より2週間程早い。ウイルス病要注意。果皮極めて薄く、紅濃い。果皮やや淡い。	
力武	松山	枝	佐賀	弱(節間短く葉小さい)	9月上旬(初旬早々に始まる)	扁平(弱小樹で玉揃い悪い)	早	下旬	果皮滑らか。着色がやや遅いため、極早生から普通の早生を兼ねた中の広い系統。	
大浦	山崎	枝	佐賀	中(富川程度)	9月中旬(富川より10日位早い)	扁平(玉伸び・玉揃いとも良い)	早	下旬	地域による特性差が大きい。	
北口	富川	枝	福岡	弱(節間短く枝葉小さい)	9月上旬	扁円~やや腰高	やや早	下旬	大果系で果皮やや粗い。花柱跡大きい。	
尾鈴	富川	樹	宮崎	やや強(枝葉やや大きい)	9月上旬	やや扁平(ややいびつになり易い)	早	下旬	やや大果で光沢あり。	
徳森	富川	枝	愛媛	中(富川程度)	9月上旬(富川より15日位早い)	やや扁平	早	下旬	糖やや多く、油胞やや大きい。	
井上	富川	枝	愛媛	中(富川程度)	9月下旬	やや扁平	早	中旬	果皮薄い。	
堂脇	富川	樹	鹿児島	やや弱(葉やや小さい)	9月上旬	扁円	早	中旬	果皮薄く滑らか(田称、熊本4号)	
大坪	興津	枝	熊本	中~やや強	9月上旬	やや扁平	早	下旬	糖やや多く、果皮やや薄い。	
肥後	富川	実生	熊本	弱	9月中旬(富川より8日位早い)	扁平	早	下旬		

で調査されたデータや、佐賀県果樹試験場で調査したデータにもとづいて、その特性を簡単に述べたが、これ以外にも、まだ、公表されていない系統や毎年新しく発見されている系統があり、今後の比較調査を待ちたい。

第3表 早生・中生・晩生系の特性

品種	系統	母樹系統	変異	原産	樹勢	果形	減酸	その他
早生	茶原	松山	実生	和歌山	やや強	やや扁平	三保よりやや少ない	9月中旬より着色を始め、10月上旬頃から食べられる。やや大果系。
	楠本	宮川	樹	愛媛	やや弱(節間短く葉やや小さい)	扁平	宮川よりやや少ない	着色は宮川より10日位早く、濃紅色。糖やや多く、10月上・中旬より食べられる。
	石塚	興津	樹	福岡	やや強	やや扁平	興津程度	着色は興津早生より1週間位早く果皮は薄い。
中生	橘温州	宮川	枝	愛媛	弱(枝葉小さく密生し、下垂し易い)	やや扁平	宮川程度かやや少ない	手もぎ採取が可能で糖やや多く浮皮少ない。内容は早生、着色は普通温州と同程度で収穫前に採取する。
	大津四号	十万	実生	神奈川	強(分岐やや広く葉は並かやや大)	扁平	杉山よりやや少ない	糖やや多く、大果系で在来系より隔年結果性は強い。完着後は浮皮発生多い。
	盛田温州	宮川	枝	佐賀	弱(枝葉小さい)	扁円	宮川程度	果皮極めて滑らかで光沢があり、浮皮発生全くない。フラベド層やジョウノウは薄い。
晩生	吉田温州	杉山	枝	徳島	やや強(枝やや立気味)	扁平	杉山程度かやや多い	葉色濃く、糖やや多く浮皮少ない。
	今村温州 No.9	今村	実生	口ノ津支	強(今村に類似)	扁平	今村より少ない	今村系より着色早く果皮の紅が濃い。